

交流(ヒト・モノ)から始まる元気集落づくり ~高齢化率68%生活圏の挑戦~

さもと おおつがわ
佐本・大都河生活圏(すさみ町)

① 現況

- 【人口】 351人 【集落数】 12集落 【高齢化率】 68.1%
 【施設等】 役場出張所、診療所(佐本、大附、大鎌)
 公民館佐本分館、郵便局、JA紀南佐本店、商店
 佐本小・中学校(廃校)、佐本保育園(廃園)
 中学校通学(4名)、小学校通学(2名)
 【地域資源】 佐本川柱松、佐本川文化祭
 キジョウロウホトギス祭
 【特産品】 米、サトイモ、椎茸、花木類

【生活環境】

- 生活交通の確保
 ・路線バス：1日3便、幹線沿いのみ
 ・福祉有償運送 ※運転手は社協登録のボランティア
 ○生活必需品の確保
 ・移動販売2業者(主に食料品)
 ・商店5店(乾物、飲料などが中心)
 ・ガソリンスタンド

【生活環境】

- 医療・福祉
 ・訪問看護ステーション
 ・佐本診療所：毎週1回(内科、外科)
 ・大附診療所：隔週水曜日
 ・大鎌診療所：隔週水曜日
 ・シニアエクササイズ：毎週金曜日(社協が実施)

② 課題

1. 地域外から人を呼び込むための方策が必要

- ・地域の魅力を活用できていない
- ・外部人材を活かした取組が必要

2. 地域資源を活かした活性化への取り組みが必要

- ・地域特産品の生産・販売基盤が脆弱
- ・山野草を活かした取組ができていない

3. 高齢者等が生活しやすい環境の整備が必要

- ・地域の実情にあった移動手段の確保が必要
- ・安定的に生活必需品を入手できる仕組みが必要

③ 総合対策

《 交流の推進、文化の継承 》 2, 820千円

○地域資源を活かした魅力づくり 【寄合会、NPO、桜の会】

- ・花街道(桜、アジサイ、キジョウロウホトギス、モジ)の創出と山菜、野菜など季節に合わせた産品、軽食の提供
- ・地域特産品、山野草等を販売する『佐本市』の開催
- ・見どころマップ作成 ※花、カフェ、体験スポット等
- ・ウォークイベント(スタンプラリー)、フォトコンテストの開催
- ・体験教室の開催を組み込んだ旅行商品づくり

○大学と連携した交流への取組 【NPO、摂南大学、柱松関係者】

- ・摂南大学と地域が連携し、廃校舎(旧佐本小学校)等の資源を活用した交流推進
- ・自然体験教室や住民との交流イベントの実施
- ・民家への宿泊体験の推進
- ・住民だけでは存続が厳しくなった伝統行事『柱松』を摂南大学との協力で継承
- ・摂南大学のなんでもやろう隊が地域住民の困りごとを調査し、解決に参画

《 地域産品の生産・販売対策 》 4, 590千円

○農産物 【各生産組合、NPO】

- ・米、サトイモ、椎茸生産組合立ち上げと生産量拡大
- ・統一基準の策定による品質向上
- ・オリジナルパッケージデザインの作成
- ・ケンケンカツウ祭やイブリータン祭などで試食会を開催
- ・インターネット(バーチャル佐本ショップ)での販売
- ・寝屋川市や摂南大学での販売

○山野草 【各生産組合、NPO】

- ・栽培講習の実施や植栽による生産対策(ササユリ、エビネラン、キジョウロウホトギス等)
- ・鳥獣害防止柵、遮光施設の設置
- ・既存ビニールハウスを育苗施設に活用
- ・PRチラシ、栽培マニュアルの作成
- ・農産物直売所で苔玉体験などのイベントを実施
- ・新規販売市場の開拓(東京、大阪など)
- ・鉢植え、苔玉、生け花など多様な形態で販売

《 高齢者等への生活対策 》 12, 400千円

○生活交通の確保 【すさみ町】

- ・小回りの効く交通手段の確保
- ※自家有償運送制度の実現

○生活必需品の確保 【すさみ町、JA】

- ・大鎌地域で買い物バスツアーを実施
- ・ガソリンスタンドの存続
- ・灯油の配達と連携した高齢者の見守り活動

○高齢者の集う場を確保 【すさみ町】

- ・高齢者サロン、体操教室など高齢者の交流の場を確保
- ※自家有償運送を活用して送迎



交流機会の創出 寝屋川市との交流 文化の継承(柱松)

④ 目指すべき姿

- 交流の推進、文化の継承で住民を元気に!
- 地域資源を活用して地域に活力を!
- 高齢者への生活対策で利便性アップ!

【事業期間】 H23. 10~H26. 9

【事業主体】 寄合会、NPO魅来づくりわかやま、摂南大学
 各生産組合(米、サトイモ、椎茸、キジョウロウホトギス)
 佐本川柱松関係者、佐本川桜の会、JA、すさみ町

全体事業費 19, 810千円

県	6, 260千円
町	5, 085千円
国	3, 000千円
地元	5, 465千円